



静岡文化芸術大学 学生による市長表敬訪問について — 『オクハマ！佐久間のむかしばなし』の報告と献本 —

静岡文化芸術大学「伝承文学ゼミ」は、2014年から天竜区各地において民話の採録調査を実施してきました。採録した民話は「方言のまま」「語り口のまま」に翻字・記録。伝承地域の解説なども書き添え、毎年、書籍として刊行しています。

このたび2025年度の成果として『オクハマ！佐久間のむかしばなし』を刊行することになりました。編著者の学生4名が市長を表敬訪問し、調査の報告とあわせて同書籍を献本します。

記

1 日時 令和8年4月6日（月） 15時00分～15時15分

2 会場 浜松市役所 市長公室秘書課 応接室

3 訪問者 編著者

鬼沢 知里（おにざわ・ちさと） 茨城県出身 文化政策学部4年生

高淵 早紀（たかぶち・さき） 滋賀県出身 文化政策学部4年生

辻榮 春菜（つじえい・はるな） 富山県出身 文化政策学部4年生

丸山 凜（まるやま・りん） 磐田市出身 文化政策学部4年生

監修者

二本松 康宏（にほんまつ・やすひろ） 静岡文化芸術大学 教授

4 趣旨

- (1) 静岡文化芸術大学「伝承文学ゼミ」では、2014年度から北遠地域において民間口承文化財（民話）の採録調査を実施してきた。調査の成果は年度ごとに書籍として刊行され、日本昔話学会等においても高い評価を受けている。
- (2) 12年目となる2025年度は、天竜区佐久間町（城西・山香地区）で調査を実施した。
- (3) かつて秋葉街道とともに繁栄した佐久間町（城西・山香地区）ならではの民話が伝承されていることが確認された。
- (4) 調査の成果として『オクハマ！佐久間のむかしばなし』を刊行した。

5 事業概要

- (1) 調査は2024年5月から2025年2月までに計26回
- (2) 119名の語り手から昔話71話、伝説70話、世間話61話、言い伝え38話、合計240話を採録
- (3) 採録された民話は学術的な位置付けや記録価値を検証し、「口承文化財」としての保存と継承を目的として「方言のまま」「語り口のまま」に翻字・記録
- (4) 地域の解説などを書き添えて、書籍として編集
- (5) 45名の語り手による昔話34話、伝説32話、世間話19話、言い伝え12話、合計97話を掲載した『オクハマ！佐久間のむかしばなし』を3月23日に刊行

6 民話の調査の全国的な現状

- (1) 日本各地の山間地域では極端な高齢化と過疎化が進み、かつてのように民話を語り伝える人々は急激に減少している。
- (2) 1970年代後半から90年代前半にかけては日本昔話学会の前身となった昔話研究懇話会や日本口承文芸学会を拠点とし、多くの大学のゼミや研究会によって本格的な民話の採録調査が全国各地で展開され、調査報告書の刊行が相次いだ。
- (3) 2000年頃から、そうした調査がきわめて困難になったといわれる。
- (4) 現在、組織的な採録調査に取り組み、その成果を書籍として刊行しているのは、全国の大学のなかでも静岡文化芸術大学の「伝承文学ゼミ」だけである。学部の学生による編著として日本文学・民俗学の専門出版社から書籍を刊行しているという点も、日本昔話学会などからは大いに注目されている。

7 調査と書籍刊行の目的

- (1) 地域に伝えられた「伝説」、家庭の中で語り継がれてきた「昔話」、ごく身近なコミュニティのなかでまことしやかに語られた「世間話」などは、いずれも本来は「民間口承文化財」と呼ばれるべき価値を持つもの。それは地域と家庭に受け継がれた「心と記憶の文化遺産」である。
- (2) 近年の極端な高齢化と過疎化によって、そうした民話の伝承は風前の灯火ともいえる状況にある。それは伝承や伝統が途絶えるというだけではない。それを語り継いできた地域、家庭、コミュニティの断絶や消滅を意味する。
- (3) 人々が暮らしの中で語り継いできた民話に意味を持たせる。「自分たちが語り継いできた話に、実はこんな意味があったのか!」「自分たちが暮らすこの土地に、そんな背景があったんだ!!」と。民話を記録することは、その土地に暮らす人々の生活の誇りを記録すること。

8 今回の出版物について

『オクハマ！佐久間のむかしばなし』

二本松康宏 監修

鬼沢知里・高淵早紀・辻榮春菜・丸山凜 編著

三弥井書店 発行

2026年3月23日 刊

A5版並製 174ページ 定価1,200円（税別）

昔話34話、伝説32話、世間話20話、言い伝え12話、合計98話を掲載



昔話

桃太郎、笠地蔵、瘤取り爺、花咲か爺、鼠の嫁入り、十二支の由来、蕎麦と麦、姥捨て山、他

伝説

野田の大沼の大蛇、福沢の山姥、舟戸の蛇女房、相月の赤子さま、徳川家康と和泉の桶屋、他

世間話

相月の諏訪神社の蛇道、舟戸の日切地蔵、狐に化かされた話、北条峠の幽霊、夢の知らせ、他

言い伝え

中瀬のいぼ岩、送り盆の禁忌、送り火の影、くだしょう、かわらんべえ、他

9 参考情報—民話の分類

昔話	時代と場所を特定しない。 「むかしむかし、あるところに」
伝説	時代や場所を特定する。 その土地では歴史的事実のように信じられていることもある。
世間話	自分自身や近親者、知人などの「体験談」や「噂」として語られる。 「都市伝説」や「学校の怪談」もこれに含まれる。
言い伝え	習慣や習俗、いわれなど。ストーリーを持たない。